



第2期 いきいき市民健康プラン「歯・口の健康づくり」

保育所・幼稚園等歯科保健活動調査

結果概要

(平成28年度)



平成 29 年 3 月

仙 台 市

目 次

保育所・幼稚園等歯科保健活動調査結果(概要)

1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 調査結果について	2
〔質問1〕回答者の職名または職種について	2
〔質問2〕歯科健診, 歯科保健教育, 歯科保健指導について	2
〔質問3〕嘱託歯科医との連携について	4
〔質問4〕園におけるむし歯予防の取り組みについて	6
〔質問5〕仙台市の事業認知度について-フッ化物洗口導入支援事業等	10
〔質問6〕仙台市の事業認知度について-3歳児カリエスフリー85プロジェクト事業	11
〔質問7〕園児の歯や口の健康のための園・家庭・地域の取り組みについて(自由記載)	12
4. 歯科保健活動アンケート 調査票	14

保育所・幼稚園等歯科保健活動調査結果(概要)

1. 調査の目的

仙台市の「第2期いきいき市民健康プラン（計画期間：平成23～34年）」は、当初計画（平成14～22年）に引き続き、「歯と口の健康」を重点分野に位置づけ、重点目標の一つに「幼児期・学齢期のむし歯のない人の増加」を掲げている。

本市では、当初計画策定時より「歯と口の健康づくりネットワーク会議^{*1}」を立ち上げ、関係諸団体等と連携をとりながら、保育所・幼稚園における「歯科健康診査集約事業」や「フッ化物洗口」の取り組みの支援、乳歯萌出期からの「むし歯ゼロ」を目指す「3歳児カリエスフリー85プロジェクト」を開始するなど、子どものむし歯予防対策に係る具体策をすすめてきた。

本調査は、乳幼児期の歯と口の健康づくりに保育所・幼稚園における歯科保健活動が大きな役割を果たしていることから、施設における取り組みの状況を把握するとともに、平成15、21年度に実施した同様の調査と一部の設問において比較を行った。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 仙台市全域
- (2) 調査対象 対象施設数・提出施設数・回収率

	H28			H21			H15		
	対象施設数	提出施設数	回収率(%)	提出施設数	回収率(%)	提出施設数	回収率(%)		
私立保育所	124	123	99.2	59	85.5	37	90.2		
市立保育所	41	41	100	50	100	50	100		
認定こども園	12	12	100						
私立幼稚園	80	78	97.5	77	76.2	75	68.8		
市立幼稚園	1	1	100	3	100	3	100		
計	258	255	98.8	189	84.8	165	81.3		

※対象施設数は平成28年4月1日現在

- (3) 調査方法 自記式アンケートによる電子メール調査
- (4) 調査期間 平成28年4月1日～8月31日
- (5) 調査項目 7問（P14-16「歯科保健活動アンケート」調査票参照）
「基本項目」「歯科保健活動状況」「園医又は嘱託(協力)歯科医の取り組みと連携」「むし歯予防対策の実施状況と今後の取り組み」「フッ化物洗口を推進する事業について」「3歳児カリエスフリー85プロジェクトについて」「歯科保健向上推進にむけた自由記載」

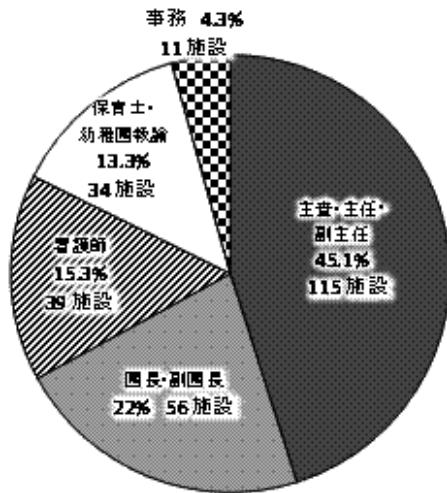
*1：歯と口の健康づくりネットワーク会議 構成

(一社)仙台市医師会、(一社)仙台歯科医師会、(一社)仙台市薬剤師会、(一社)宮城県歯科衛生士会、仙台市、仙台市教育委員会、仙台市私立幼稚園連合会、仙台市PTA協議会、仙台市保育所連合会、東北大学大学院歯学研究科、宮城産業総合支援センター

3. 調査結果について

〔質問1〕 回答者の職名または職種について (255 施設)

「主査・主任・副主任 (45%)」が最多であり、次いで「園長・副園長 (22%)」と管理職が占め、「看護師 (15%)」「保育士・幼稚園教諭 (13%)」が続いている。

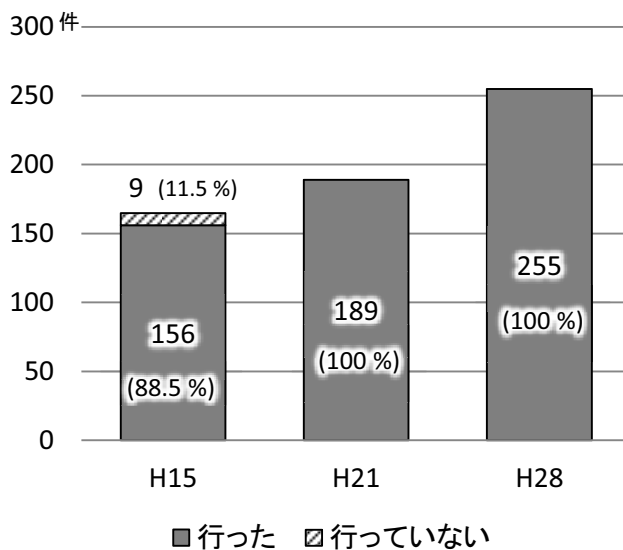


職種	実数	%
主査・主任・副主任	115	45.1
園長・副園長	56	22.0
看護師	39	15.3
保育士・幼稚園教諭	34	13.3
事務	11	4.3
計	255	100

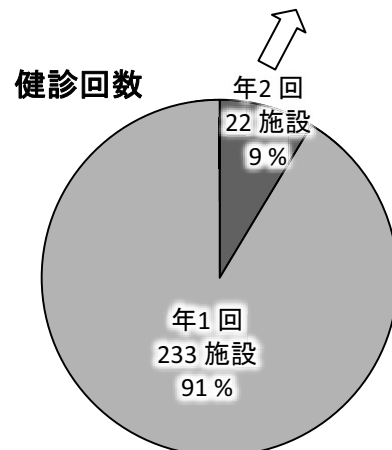
〔質問2〕 歯科健診, 歯科保健教育, 歯科保健指導について

歯科健診を実施していると回答した施設は、H15年調査では89%だったが、H21年調査に引き続き回答した全施設255施設で歯科健診を実施していた。また、健診回数は「年1回(91%)」がほとんどで、「年2回実施」と回答した22施設の内訳は「私立保育所(20)」、「私立幼稚園(1)」、「認定こども園(1)」であった。

(1) 歯科健康診断を行っていますか。



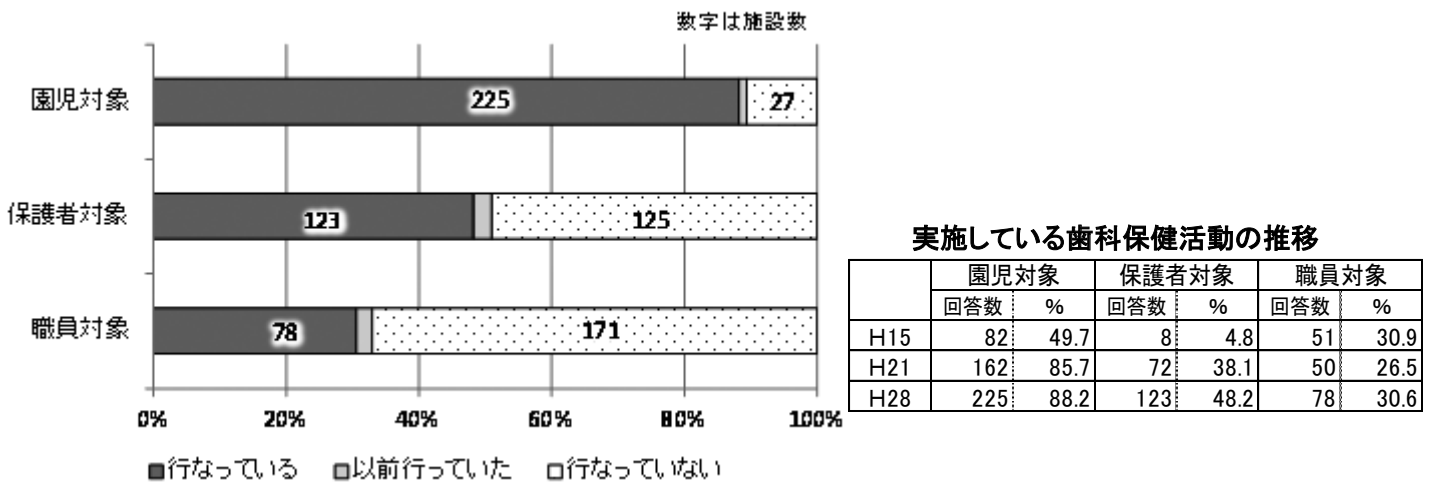
年2回実施施設	施設数
私立保育所	20
私立幼稚園	1
認定こども園	1
計	22



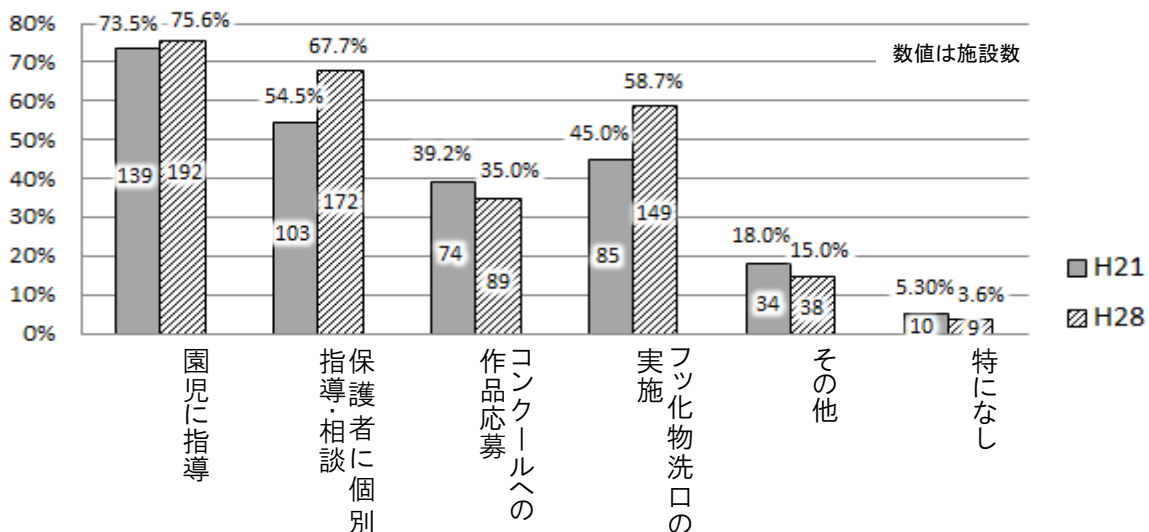
園全体の歯科保健活動は、「園児を対象とした取り組み 225 施設 (88%)」が最多、次いで「保護者 123 施設 (48%)」、「職員 78 施設 (31%)」であった。中でも、保護者に対する取り組みは、H21 年調査より 10 ポイント、H15 年調査より 43 ポイント増加した。

また、クラス単位で行った取り組みは「園児に対する劇や紙芝居等による指導 (76%)」が最多で、「保護者への個別指導・相談 (68%)」、「フッ化物洗口 (59%)」と続いた。歯科保健教育や保健指導を実施する担当者が「決まっている」と回答した園は 76%、H21 年調査より 4 ポイント増加しており、その職種は「保育士・幼稚園教諭 (69%)」が最多で、「歯科医師 (33%)」「看護師 (18%)」「栄養士 (11%)」と続いた。

(2) 貴園全体で歯や口の健康に関わる活動を行っていますか。

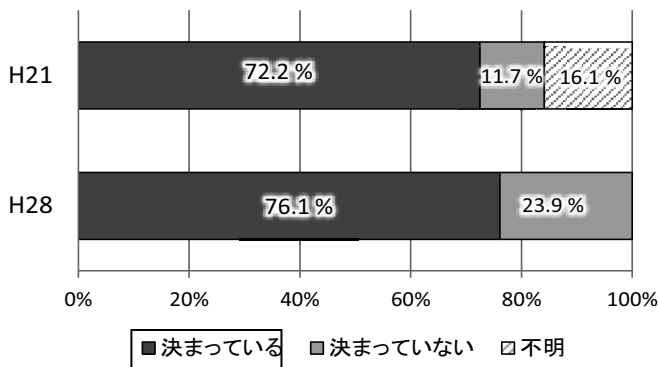


(3) 平成 27 年度にクラス単位で行った歯や口の健康に関わる活動は何ですか。(複数回答可)



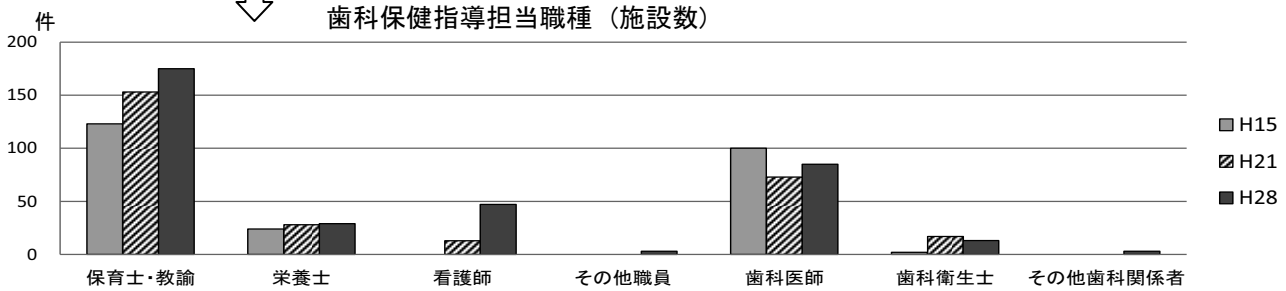
	園児に指導		保護者に個別指導		コンクールへの応募		フッ化物洗口の実施		その他		特になし	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
H21	139	73.5	103	54.5	74	39.2	85	45.0	34	18.0	10	5.3
H28	192	75.6	172	67.7	89	35.0	149	58.7	38	15.0	9	3.6

(4) 歯や口の健康に関する教育・指導をする担当者は決まっていますか(複数回答可)



H28	回答数	%
決まっている	194	76.1
決まっていない	61	23.9
計	255	100

* H21 施設数は不明



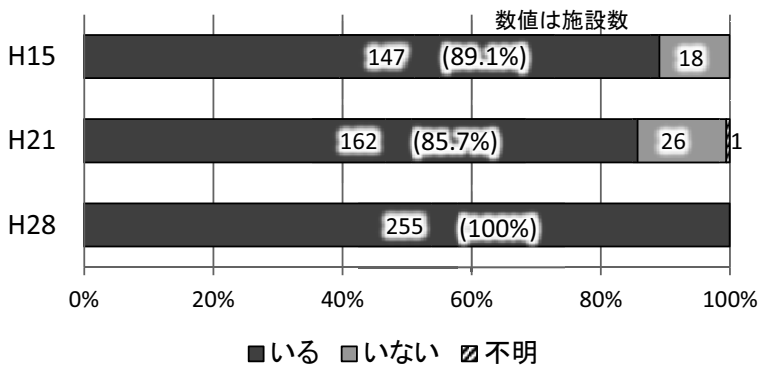
	保育士・教諭	栄養士	看護師	その他職員	歯科医師	歯科衛生士	その他歯科関係者
H15	123	24	—	—	100	2	—
H21	153	28	13	—	73	17	—
H28	175	29	47	3	85	13	3

〔質問3〕 嘱託歯科医との連携について

歯科に関する助言・指導等を行う「嘱託歯科医がいる」と回答した施設は 255 施設（100%）で、前回調査より 14 ポイント増加し、全施設が「嘱託歯科医（園歯科医）がいる」と回答したものの、歯科健診後の結果のまとめ等を毎年嘱託歯科医に報告している園は 146 施設（57%）にとどまった。

また、嘱託歯科医が「講話や歯みがき指導に従事する時間がある」と回答した施設は 22%、「打ち合わせや事務連絡の時間がある」と回答した施設は 41%であった。

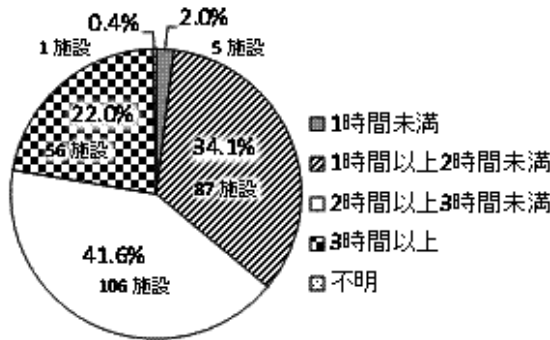
貴園で歯科に関する助言・指導等を行う嘱託歯科医はいますか



	いる		いない		不明		計
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	
H15	147	89.1	18	10.9	0	0.0	165
H21	162	85.7	26	13.8	1	0.5	189
H28	255	100.0	0	0.0	0	0.0	255

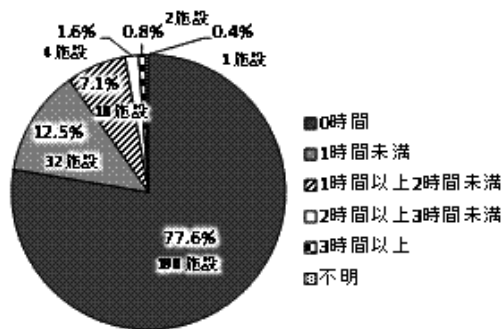
(1) 嘱託歯科医が従事する時間は年間約何時間くらいですか(延べ時間)

① 定期健康診断



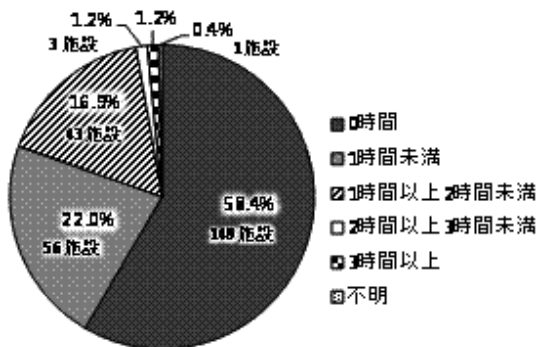
定期健診の時間	施設数	
	H28	参考 H21
1時間未満	5	1
1時間以上2時間未満	87	48
2時間以上3時間未満	106	67
3時間以上	56	63
不明	1	10
計	255	189

② 講話や歯みがき指導



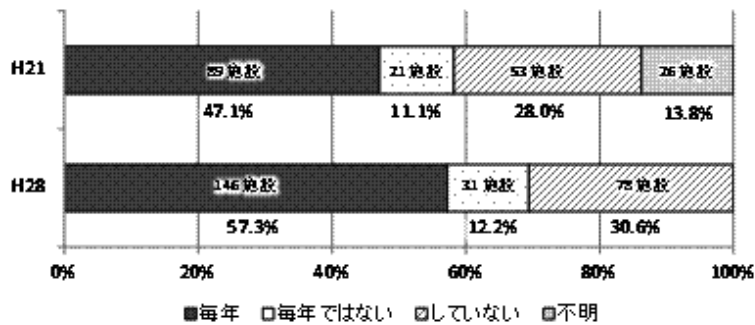
講話・歯みがき時間	施設数	
	H28	参考 H21
0時間	198	-
1時間未満	32	17
1時間以上2時間未満	18	28
2時間以上3時間未満	4	6
3時間以上	2	4
不明	1	134
計	255	189

③ 打ち合わせや事務連絡



打ち合わせ・事務連絡	施設数	
	H28	参考 H21
0時間	149	-
1時間未満	56	23
1時間以上2時間未満	43	31
2時間以上3時間未満	3	4
3時間以上	3	4
不明	1	127
計	255	189

(2) 歯科健康診断の結果のまとめなどを毎年嘱託歯科医に報告していますか。

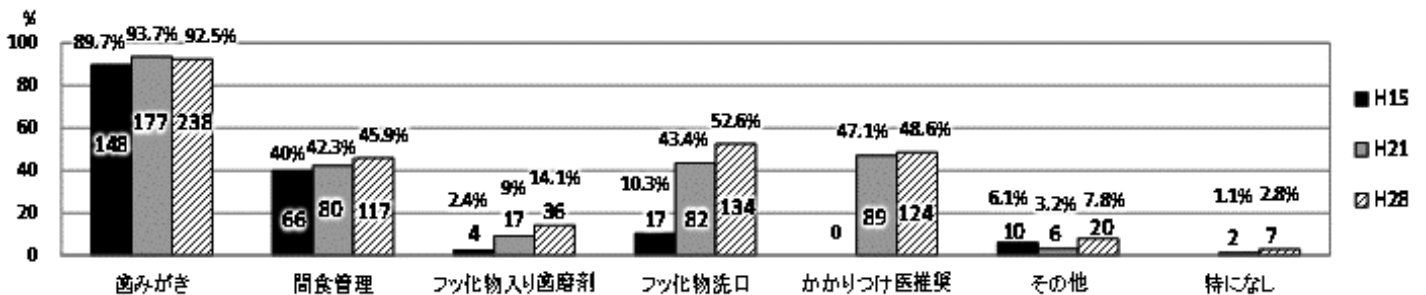


健診結果の報告	施設数	
	H21	H28
毎年	89	146
毎年ではない	21	31
していない	53	78
不明	26	0
計	189	255

〔質問4〕園におけるむし歯予防の取り組みについて

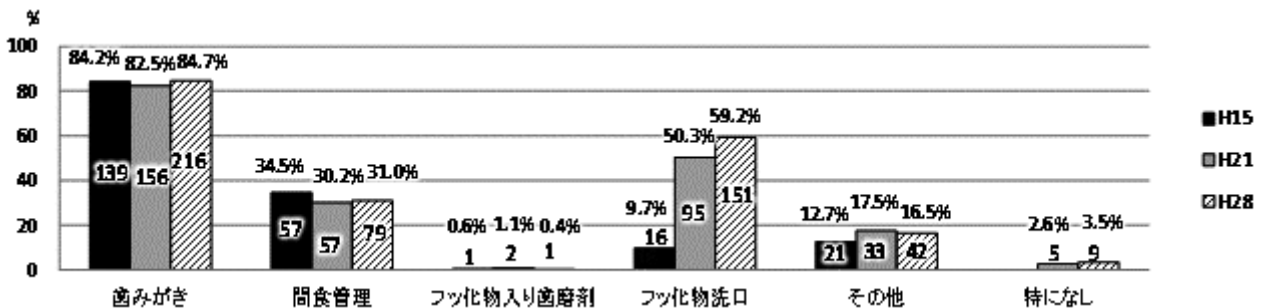
施設が園児や保護者に推奨するむし歯予防法の最多は「歯みがき」238施設（93%）で、次に「フッ化物洗口」134施設（53%）「かかりつけ歯科医院での定期健診・予防処置」124施設（49%）「間食指導」117施設（46%）と続いた。過去の調査との比較では、「フッ化物洗口」を推奨する施設が著しく増加し、実施している活動としても「フッ化物洗口」をあげた施設は、H15年調査の16施設から151施設と9.4倍増となった。

(1)むし歯予防方法について園児・保護者に対して推奨しているものをおたずねいたします。（複数回答可）



	歯みがき		間食管理		フッ化物入り歯磨剤		フッ化物洗口		かかりつけ医推奨		その他		特になし	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
H15	148	89.7	66	40.0	4	2.4	17	10.3	0	0.0	10	6.1	—	—
H21	177	93.7	80	42.3	17	9.0	82	43.4	89	47.1	6	3.2	2	1.1
H28	238	92.5	117	45.9	36	14.1	134	52.6	124	48.6	20	7.8	7	2.8

(2)貴園で実施しているむし歯予防活動についておたずねいたします。（複数回答可）

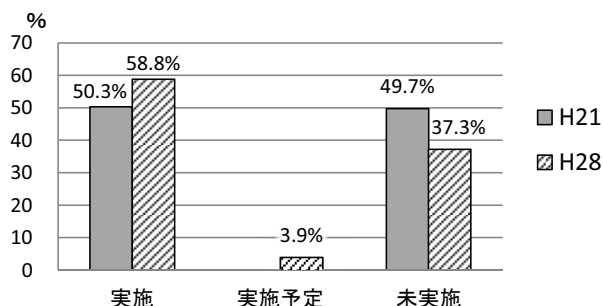


	歯みがき		間食管理		フッ化物入り歯磨剤		フッ化物洗口		その他		特になし	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
H15	139	84.2	57	34.5	1	0.6	16	9.7	21	12.7	—	—
H21	156	82.5	57	30.2	2	1.1	95	50.3	33	17.5	5	2.6
H28	216	84.7	79	31.0	1	0.4	151	59.2	42	16.5	9	3.5

保育所・幼稚園におけるフッ化物洗口の実施について

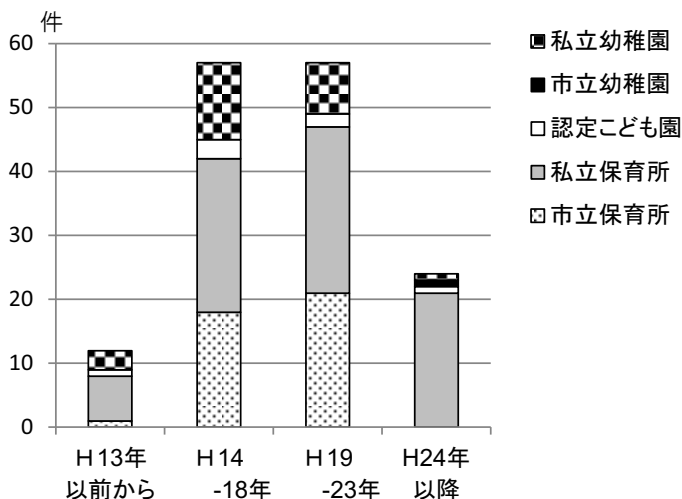
フッ化物洗口を実施している施設は、「実施予定」も含めると 160 施設で全体の 60%を超えた。フッ化物洗口の開始時期は、「市民健康プラン（H14-22）」や「第 2 期市民健康プラン（H23-34）」の推進に向け開始した「フッ化物洗口導入支援事業（H16）」、「歯科健診集約事業（H19）」、「フッ化物洗口継続補助事業（H23）」の時期と連動し、増加している。また、フッ化物洗口開始により「むし歯予防活動に変化があった」と回答した施設は 90%を越え、その内容は、「園児 74%」はもとより、「保護者 70%」、「職員 63%」の「むし歯予防に関する意識の向上」が、前回より大きく増加した。

(3)フッ化物洗口を実施していますか



フッ化物洗口の実施	施設数	
	H21	H28
実施	95	150
実施予定	-	10
未実施	94	95
計	189	255

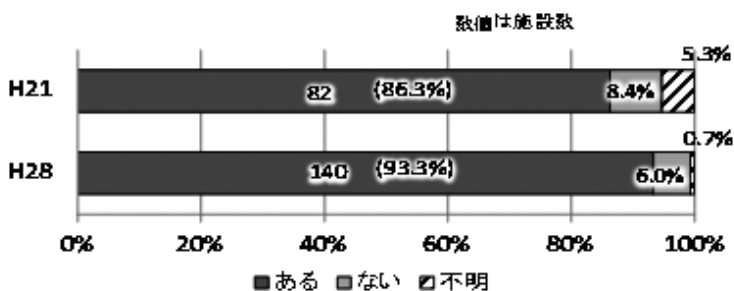
①フッ化物洗口を始めたのはいつからですか。



	H13年以前から	H14-18年	H19-23年	H24年以降
私立幼稚園	3	12	8	1
市立幼稚園	-	-	-	1
認定こども園	1	3	2	1
私立保育所	7	24	26	21
市立保育所	1	18	21	-
計	12	57	57	24

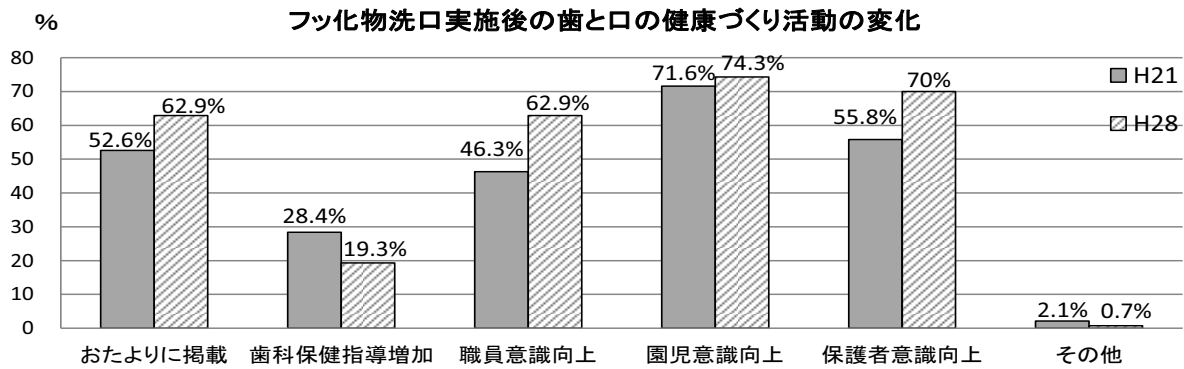
※市立保育所は、H16～22年度までに全施設実施
 ※市立幼稚園（1か所）は、H26年度より実施

②洗口を始めたことで、むし歯予防活動に変化があったと感じることはありますか。



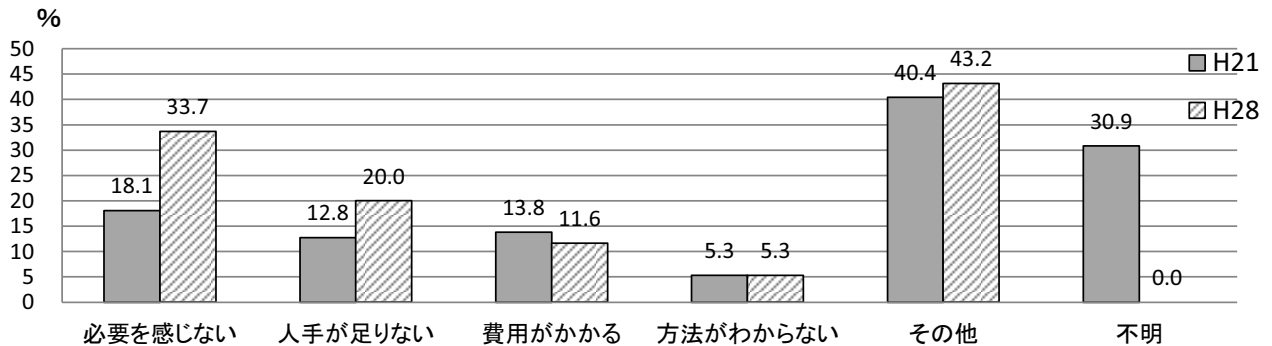
フッ化物洗口実施後の変化	施設数	
	H21	H28
ある	82	140
ない	8	9
不明	5	1
計	95	150

フッ化物洗口により活動に変化が「ある」と回答した園におたずねします。(複数回答可)



フッ化物洗口実施後の変化	H21		H28	
	回答数	%	回答数	%
おたより等に掲載	50	52.6	88	62.9
歯科保健指導等増加	27	28.4	27	19.3
職員の意識向上	44	46.3	88	62.9
園児の意識向上	68	71.6	104	74.3
保護者の意識向上	53	55.8	98	70.0
その他	2	2.1	1	0.7

フッ化物洗口を実施していない理由は何ですか (複数回答可)



フッ化物洗口未実施の理由	H21		H28	
	回答数	%	回答数	%
必要性を感じない	17	18.1	32	33.7
人手が足りない	12	12.8	19	20.0
費用がかかる	13	13.8	11	11.6
方法がわからない	5	5.3	5	5.3
その他	38	40.4	41	43.2
不明	29	30.9	0	0.0

その他の内容(施設数)

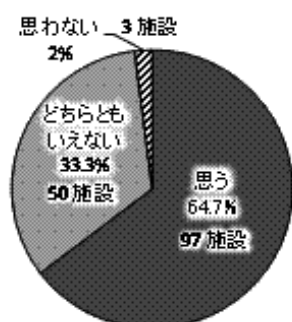
安全性に疑問	7	異年齢保育のため	2
洗口実施を検討中	5	新園のため準備間に合わず	2
在籍児が3歳未満児	5	歯みがきで十分	2
家庭に任せている	5	園児数が多く対応できない	2
薬品管理・環境の問題	4	対象児童が少ない	1
理由なし	3	嘱託医から歯みがきで十分と指導あり	1

小学校におけるフッ化物洗口の実施について

フッ化物洗口実施施設（150 施設）に「小学校でのフッ化物洗口の実施」を尋ねたところ、「実施してほしい 97 施設（65%）」「どちらともいえない 50 施設（33%）」「実施してほしいと思わない 3 施設（2%）」という結果であった。

「実施してほしい理由」の最多は「むし歯予防は継続した取り組みが大切 58 施設」で、次いで「むし歯予防に有効、成果を感じた 30 施設」であった。また、「どちらともいえない」と回答した理由は「児童数が多いことによる管理等の問題 16 施設」や「学校の都合・先生の負担 16 施設」が最も多く、「実施してほしいと思わない」理由としては「家庭での取り組みで良い」「歯みがき指導が出来ていれば良い」等であった。

③フッ化物洗口を実施している園におたずねします。フッ化物洗口は、小学校でも実施してほしいと思いますか。



小学校でのフッ化物洗口実施	回答数	%
思う	97	64.7
どちらともいえない	50	33.3
思わない	3	2.0
計	150	100

【理由】

思う理由	回答数
むし歯予防には継続が大切	58
むし歯予防に有効、成果を感じたため	30
食育の一貫につなげられると思う	2
家庭で行うのは難しいので小学校で続けることで歯の健康につながるから	1
歯みがきだけでは足りないと思うから	1
小学生のほうがむし歯が多いと思うため	1
未記入	4

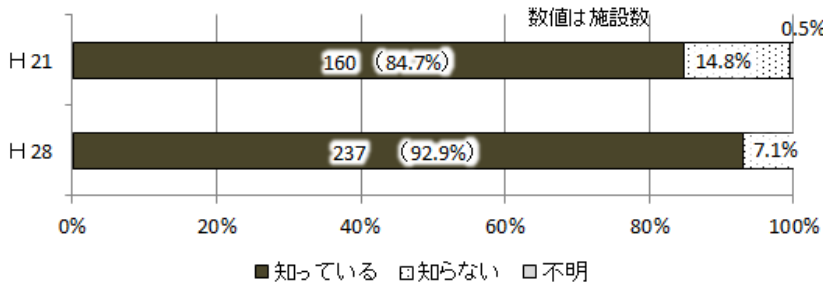
どちらともいえない理由	回答数
人数が多いため(衛生面の保障、児童全員の管理が困難、薬剤管理の困難さ、手洗い場の不足)	16
学校の都合、先生の負担	16
フッ化物洗口の副作用を心配する保護者の存在	5
家庭での歯磨きやむし歯の治療などをしなければ意味がない	3
継続の効果を知らない	2
市販のフッ化物配合歯磨剤を使用するようになるため	1
小学生は歯磨きができるので十分だと思う	1
歯科医の見解が様々なので	1
フッ素をすることで安心しているようなところがあり、歯磨きをきちんとしてほしい	1
未記入	4

思わない理由	回答数
各家庭での実施でいい	1
効果が上がるように取り組むには難しいのではないかと	1
歯磨き指導が行き届いていればフッ化物洗口は行わなくていいと思う	1

〔質問5〕 仙台市の事業認知度について-フッ化物洗口導入支援事業等

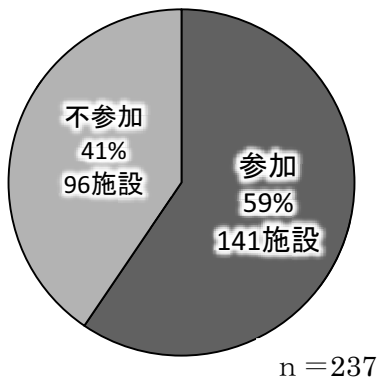
仙台市の「フッ化物洗口導入支援事業」を知っている施設は93%で、前回調査より8ポイント増加した。また、平成23年度より開始した「フッ化物洗口継続補助事業」を「知っている」と回答した施設は85%であった。

(1) 仙台市で行っている「フッ化物洗口導入支援事業」についてご存知ですか。

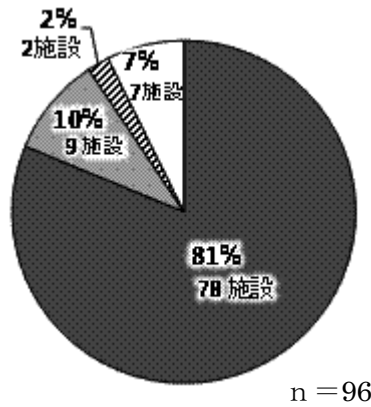


フッ化物洗口導入支援事業	施設数	
	H21	H28
知っている	160	237
知らない	28	18
不明	1	-
計	189	255

○ 「知っている」と回答した施設における「フッ化物洗口導入支援事業」参加状況



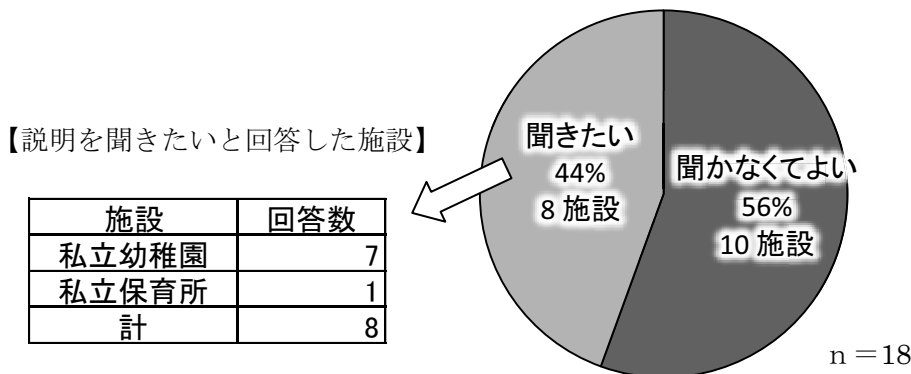
○ 「知っている」が「フッ化物洗口導入支援事業」には「参加していない」と回答した理由



- フッ化物洗口未実施のため
- 以前から園独自で行っているため
- ▨ 未満児のため
- その他

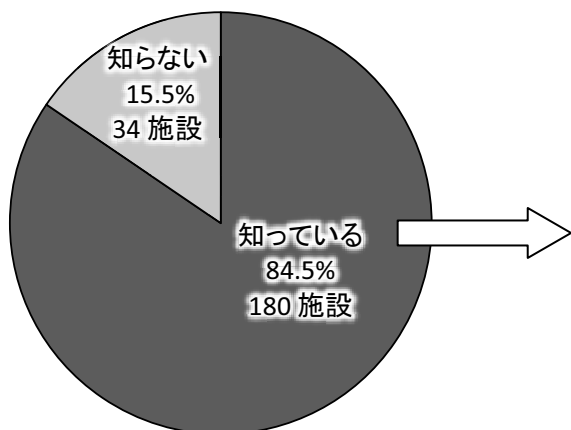
その他の内容	回答数
4.5歳児の人数が少ないため	1
園児数が多いため	1
開園後間もないため	1
管理が難しい、医師との連携等課題がある	1
去年まで認可園だったため	1
賛否両論のため	1
未記入	1

○ 「知らない」と回答した施設で「フッ化物洗口導入支援事業」の説明を聞きたいと回答した施設



(2) 仙台市で行っている「フッ化物洗口継続補助事業(洗口実施2年目以降の園対象)」についてご存知ですか。

* n = 213 「私立幼稚園, 私立保育所, 認定こども園」のみ回答



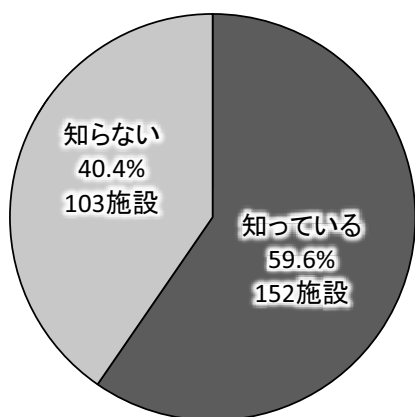
【知っていると回答した施設】

	回答数	%	n
私立保育所	112	91.1	123
私立幼稚園	58	74.4	78
認定こども園	10	83.3	12
計	180	84.5	213

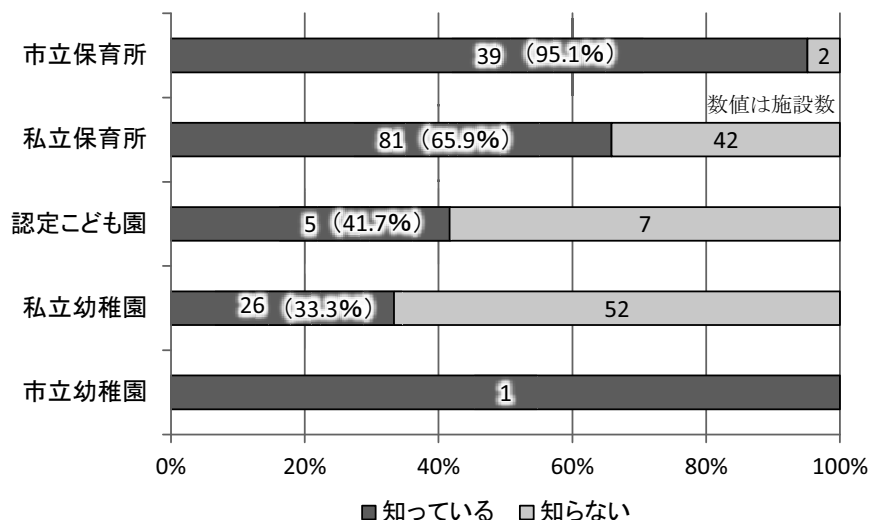
【質問6】 仙台市の事業認知度について- 3歳児カリエスフリー85プロジェクト事業

乳歯萌出期からの歯と口の健康づくりを支援する「3歳児カリエスフリー85プロジェクト(平成27年度開始)」を「知っている」と回答した施設は60%であった。施設別の認知率は、市立保育所95%、私立保育所66%、認定こども園42%、私立幼稚園33%の順となっており、取り組みの対象年齢(3歳児未満児)の在籍者数が多い保育所の認知率が高い結果となった。

(1) 仙台市が仙台歯科医師会や仙台市医師会, 東北大学歯学研究科, 仙台市保育所連合会, 仙台市私立幼稚園連合会等との協働・連携により取り組みを進めている「3歳児カリエスフリー85プロジェクト(むし歯のない3歳児を85%以上に増加させることを目指します)」をご存知ですか。



3歳児カリエスフリー85プロジェクト認知度(施設別)



※市立幼稚園 = 1施設

[質問7] 園児の歯や口の健康のため、園・家庭・地域の取り組みについて、ご意見がございましたらご記入をお願いいたします。

保育所 41 件（私立 29 件， 市立 12 件）

小学校に対する要望(フッ化物洗口，給食後の歯みがき)	回答数
子どもたちの意識を高める上でもフッ化物洗口は有効だと感じます。フッ化物洗口をクラスみんなで行うことで、歯科への興味が薄い子どもたちも必然的取り組むことになり、卒園後も継続して小学校でフッ化物洗口に取り組んでほしいと願っています。	8
家庭での予防が十分にできない子どもに対しても、その効果が期待でき、子どもに対する健康教育という観点からも小学校での歯磨きとフッ化物洗口を実施してもらいたい。	8
乳歯から永久歯に生え変わる時期に歯科健診や歯科指導の機会を設けることで歯の健康に対する意識の向上が図れるのではないかと思います。	1
子どもへの健康教育，保健指導に関すること	回答数
むし歯予防の紙芝居や指人形などを借りられたらいいと思います。	1
幼児向けのわかりやすいむし歯予防に関する冊子等があると啓発しやすいと思います。	1
年々子どもの生活習慣の自立がゆっくりになっていることから、歯磨きを集団で行う際の安全管理の必要性も高まっているように感じている。現在は、音楽に合わせて一斉に歯磨きを行っている、安全に楽しく行う事ができる。	1
保護者への啓発，歯科保健情報に関すること	回答数
保育園でフッ化物洗口を行っていても、家庭での口腔衛生への意識が低い現状を改善しなければならないと思います。保護者向けの指導等の企画があるといいと思います。	1
健診結果では未満乳以上になるとむし歯が増える傾向にあります。年齢が小さいうちから保護者にむし歯予防の啓蒙をしながら、それを継続させ年齢が上がるにつれて子供にも意識してもらえるような取り組みができるといいと思います。	1
特定の子どものう蝕が多いため家庭への働きかけで工夫できる部分があるとよい	1
保育園での歯みがき指導やフッ化物洗口だけでなく、家庭でもむし歯予防に関する意識を持っていけるような情報の発信を行っていく必要があると感じる。	1
保護者から子どもが歯磨きを嫌がるという相談を受けることが多いのですが、子どもが嫌がらず楽しく歯磨きができる方法や短時間で効果のある磨き方を知らせてほしい	1
乳歯の萌出期からの歯と口の健康づくりに関すること	回答数
離乳期からの摂食指導の大切さを実感しています。「咬めない、咀嚼ができない子、指吸いがやめられない子」など、気になる姿が目立ち、母子の愛着関係だけでなく摂食の影響もあるのではないかと考えています。	1
乳歯の生え始め時期の取り組みに、どんなことがあるのか知りたい。3歳児カリエスフリープロジェクトに参加したい。	1
保健福祉センターとの連携に関すること	回答数
歯と口の健康づくりは家庭での取り組みに違いがあり、特に3歳ころまで家庭で育ち、途中入園してきた園児にむし歯が多い傾向があることを囑託医からも指摘されています。集団生活を始める前の家庭での取り組みについての啓発を仙台市の健診等で強化していただけることを望みます。	1
フッ化物の利用は、歯が生え始めた頃から行うほうがよい。取り組みを行っている地域もある。家庭でもフッ化物を使用するように健診の時に指導していただくなどしてほしい。	1
入所前の家庭状況により入所後の健診でむし歯の多い子がいます。3歳児健診時、むし歯が多い子の定期的な指導を行ってほしい。	1
保育所の継続児は、4歳頃からむし歯が増える傾向にある。新入児は3歳児で、すでに数本むし歯がある状況も見られる。保護者の心配事として、家庭での歯磨きや歯科医院受診を極度に嫌がる子がいるなど、悩みを抱えている方もいる。歯科健診の前後に、各クラス年齢・発達にあわせて、歯や口の健康について話題にする機会を設けているが、保護者向けに具体的にむし歯予防をどう進めたらよいか、3歳児健診等においてもさらに対策を充実させることも必要と感じている。	1
課題に感じていること	回答数
本園では囑託医のすすめで開園時からフッ化物洗口を取り入れてきました。普段保護者にはおたよりを通して歯の大切さ等を知らせる程度ですが、3歳児後半の懇談会で翌年から始まるフッ化物洗口の話をしてしています。また子育て支援センターで地域の親子に向けて囑託医の先生が歯の話や相談を年に1回行ってくださっています。フッ化物洗口をして大きな変化があるのかはまだ分かりません。毎年の歯科健診で虫歯がある子は同じ(前年から治療がされず本数だけがが増えていく)で、保護者に伝えることは難しさを感じます。	1
保護者への働きかけを効果的に行うことが必要と感じているが、中でも難しさを感じているのが、発達障害を持っているお子さんの歯磨きで、保護者も困っている様子が見られる。どう対応していくことが望ましいのか等の情報を知りたいと思う。	1

施設における今後の取り組みについて	回答数
保育園でフッ素洗口を始めてから、むし歯数が増えていないように感じています。現在は4・5歳児のみですが3歳児も始めて行こうと考えています。保育園で習慣化した歯磨き、フッ素洗口が卒園してからも継続していくことを願っていますが、学校でのフッ素洗口実施には課題もあるかと思うので、まずは家庭での歯磨きが継続して行われるよう今後も家庭への働きかけをしていきたいと思ひます。	1
来年度フッ素洗口を計画しています。取り組みによって、むし歯の園児が一人でも減るようにしたいです。	1
むし歯は、体全体に影響を及ぼすといわれています。むし歯予防という視点だけでなく、コミュニケーション的視点や食育的観点からも働きかけられると、より総合的な取り組みになるのではないかと感じている	1
週に1回または歯科健診日のみだけでも、フッ化物洗口についての話しや体験があるといいと思ひます。	1
フッ化物洗口を実施した卒園児のう蝕の有病率が知りたいです。そのような資料があれば拝見したいです。	1
姉妹園との関連で、フッ化物洗口に取り組むことが出来ません。今後検討したいと思ひます。現在フッ化物洗口の取り組みはしていませんが、園児のむし歯は少ないように思ひます。保育の中で歯磨きはしっかりさせていきたいと考えております。	1

生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進が重要	回答数
高齢になっても歯が丈夫であれば、しっかり栄養を摂取でき健康が維持され、医療費の抑制にも波及効果が認められています。幼少期からむし歯予防に取り組む生活習慣を身に付け、歯みがきにとどまらず、併せてフッ化物洗口も継続して行う事が重要とおもいます。	1
かかりつけ歯科医で定期的に健診を受診できるシステムがあるといい。	1

私立幼稚園 13 件

保護者への啓発、歯科保健情報に関すること	回答数
心身の健康は家庭が基本であり、家庭の教育力向上がポイント。保護者の関心を高め、協力を得るように園からの働きかけが必要。小学校入学後も、技術習得までは仕上げ磨き大切。	4
幼稚園から家庭へ配布するむし歯予防リーフレット等があれば助かります	1

小学校に対する要望(フッ化物洗口、給食後の歯みがき)	回答数
歯の大切さや予防について、園児に紙芝居や絵本を通して知らせていくことも大切である。小学校でも継続して実施できるよう、学校や幼稚園・保育所等で定期的に講習会等を行うと、慣れて雑になりがちな歯の磨き方を正しく習得できると思う。	2
昼食後の歯磨き指導をしっかり行い、歯と口腔の健康づくり教室等を実施する	2
フッ化物洗口は、卒園後も継続して取り組めるように小学校で実施してほしい	1

保健福祉センターとの連携に関すること	回答数
仙台市より各園のデータのまとめを毎年いただけるので、保護者に園の傾向を知らせ、積極的な治療や予防の呼びかけに役立っている	1
乳幼児健診等による家庭への啓発は今後も必要	1

施設における今後の取り組みについて	回答数
担任と歯科医師とのやりとりを密にしていきたい	1

認定こども園 2 件

家庭・囑託歯科医・小学校との連携に関すること	回答数
仙台市は子どものむし歯の保有率が他都市に比べて多い。卒園後にむし歯になってしまう子もいるため、小学校との連携が重要だと思う。また、保護者の中にはむし歯を軽んじている方も多い。むし歯の二極化を改善するためにも、入園前の検診での啓発が更に必要である。	1
昼食後の歯磨き実施。囑託歯科医の指導では自分の歯磨き習慣と家での仕上げ磨きが大事とのこと。小学校卒業まで続けてもらうよう家庭への啓発と連携が必要	1

4. 歯科保健活動アンケート調査票

※アンケート用紙は電子データ(エクセルファイル)でお送りします

歯科保健活動アンケート(平成28年度)

貴保育所、貴幼稚園等(以下、「貴園」と略)における歯科保健活動についておたずねします。

- 質問は7問あります。平成28年度の活動(予定)についてお答えください。
(ただし、質問2-(3)については、平成27年度実績をお答えください。)
- 回答は、□の中に数字、または○印をつけてください。
- 「その他」を選ばれた場合は、その内容を具体的に()内にご記入ください。
- ご記入後は、「平成28年度歯科健診結果データ」とあわせて、平成28年7月30日まで、電子メールまたは、郵送等でお送りください。

* 記載年月日 平成28年 月 日

質問1 園児数及び職員数について

貴園名						
職員数	保育士	<input type="text"/> 名	幼稚園教諭	<input type="text"/> 名	栄養士	<input type="text"/> 名
	看護師	<input type="text"/> 名	給食関係	<input type="text"/> 名	事務職	<input type="text"/> 名
	その他()					
記載者名	職名または役職()			氏名()		
園児数	0歳児	<input type="text"/> 名	1歳児	<input type="text"/> 名	2歳児	<input type="text"/> 名
	3歳児	<input type="text"/> 名	4歳児	<input type="text"/> 名	5歳児	<input type="text"/> 名
*4月1日時点での年齢で記載してください。						

質問2 貴園における歯科保健教育・指導について

- 歯科健康診断を行っていますか。
 はい (年 回) いいえ
- 貴園全体で歯や口の健康に関わる活動を行っていますか。
 ①職員を対象に 行っている 以前行っていた 行っていない
 ②園児を対象に 行っている 以前行っていた 行っていない
 ③保護者を対象に 行っている 以前行っていた 行っていない
- 平成27年度にクラス単位で行った歯や口の健康にかかる活動は何ですか。(複数回答可)
 ①クラスの園児に、劇や紙芝居などによる指導を行った。
 ②保護者に個別の歯科指導や相談(歯科健診結果の通知や受診勧奨など)を行った
 ③行政や各種団体主催の歯と口をテーマにしたコンクールへ作品を応募した。
 ④フッ化物による洗口を行っている。
 ⑤その他()
 ⑥特に行っていない
- 歯や口の健康に関する教育・指導をする担当者は決まっていますか(複数回答可)
 決まっている
 ①職員 保育士 幼稚園教諭 栄養士 看護師
 その他()
 ②歯科関係者(差し支えなければ、お名前等を教えてください)
 歯科医師 (所属:) (名前:)
 歯科衛生士(所属:) (名前:)
 その他 (所属:) (名前:)
 決まっていない

質問3 貴園の嘱託歯科医等について

貴園で歯科に関する助言・指導等を行う嘱託歯科医師等はいらっしゃいますか。

はい いいえ (質問4へお進みください)

↓

「はい」と回答された園におたずねします。

(1) 嘱託歯科医師が従事する時間は年間約何時間くらいですか(延べ時間)

① 定期健康診断 時間
 ② 講話や歯みがき指導 時間
 ③ 打ち合わせ、事務連絡等 時間

(2) 歯科健康診断の結果のまとめなどを毎年嘱託歯科医に報告していますか。

はい 毎年ではないが報告している いいえ

(3) 差し支えなければ、貴園の嘱託歯科医のお名前を教えてください。

院 名 ()

歯科医師氏名 ()

質問4 貴園でのむし歯予防の取り組みについて

(1) むし歯予防方法について園児・保護者に対して推奨しているものをおたずねいたします(複数回答可)

歯みがき
 間食(おやつ)に甘い菓子類はさけるなどの甘味食品の制限や管理
 フッ化物配合歯みがき剤の使用
 フッ化物洗口
 かかりつけ歯科医院での定期健診やむし歯予防処置*
(むし歯予防処置*とは:フッ化物歯面塗布や予防充填(シーラント)など歯科医院で行う予防の総称です)
 その他()
 特になし

(2) 貴園で実施しているむし歯の予防活動についておたずねいたします(複数回答可)

歯みがき
 間食(おやつ)に甘い菓子類はさけるなどの甘味食品の制限や管理
 フッ化物配合歯みがき剤の使用
 フッ化物洗口
 その他()
 特になし

(3) フッ化物洗口を実施していますか。

実施している 実施予定 実施していない

↓
 「実施している」とご回答された園におたずねします。

① フッ化物洗口を始めたのはいつからですか

昭和 平成 年

② フッ化物洗口を始めたことで、歯と口の健康づくり活動に変化があったと感じることはありますか(複数回答可)

ある ない

↓

「ある」とご回答された園におたずねします。(複数回答可)

お便りなどに歯や口の健康について盛り込んだ
 歯科講話や歯みがき指導を受ける機会を増やした
 職員のむし歯予防に関する意識が向上したと感じる
 園児のむし歯予防に関する意識が向上したと感じる
 保護者のむし歯予防に関する意識が向上したと感じる
 その他()

理由(複数回答可)

必要を感じない
 人手が足りない
 費用がかかる
 方法がわからない
 その他()

フッ化物洗口を実施している園におたずねします。

③フッ化物洗口は、小学校でも実施してほしいと思いませんか

- 思う 理由()
- どちらともいえない 理由()
- 思わない 理由()

質問5 保育所や幼稚園等で行うフッ化物洗口について * (2)は私立施設のみご回答ください。

(1) 仙台市で行っている「フッ化物洗口導入支援事業」についてご存知ですか

- 知っている
- 参加している
- 参加していない :理由 フッ化物洗口を実施していないため
- その他(例:以前から園独自で行っているため))
- 知らない
- 説明を聞いてみたい 説明は聞かなくてもよい

***「私立幼稚園、私立保育所、認定こども園」におたずねします。**

(2) 仙台市で行っている「フッ化物洗口継続補助事業(洗口実施2年目以降の園対象)」についてご存知ですか

- 知っている
- 知らない

質問6 3歳児カリエスフリー85プロジェクトについて

(1) 仙台市が仙台歯科医師会や仙台市医師会、東北大学歯学研究科、仙台市保育所連合会、仙台市私立幼稚園連合会等の主体の方々との協働・連携により、乳歯の生えはじめの時期のお子さんの歯と口の健康づくりを応援する「3歳児カリエスフリー85プロジェクト(むし菌のない3歳児を85%以上に増加させることを目指します)」についてご存知ですか。

- 知っている 知らない

質問7 園児の歯や口の健康のため、園・家庭・地域の取り組みについて、ご意見がございましたらご記入をお願いします

例)保育所や幼稚園でフッ化物洗口を経験した子どもたちが、卒園後も継続して実施できるよう小学校での洗口を実施してほしい

～ ご協力ありがとうございました ～

むし菌は、小児から高齢者まで誰でもかかりますが、予防可能な病気です。

甘いものに気をつける、歯みがき、フッ化物の利用といった予防法は広く知られています。

しかし、個人や家庭で、これらの歯と口の健康づくりに取り組もうとしても、家庭間での取り組みには違いがあります。保育所や幼稚園で実施する定期健診の結果からも、むし菌のない子とたくさんむし菌がある子の二極化がみられ、「歯の健康の格差」が縮まらないといった状況にあります。

仙台市では地域全体で「子どもの歯と口の健康づくり」を支援する取り組みを推進し、乳歯が生えた直後からのむし菌予防対策として「3歳児カリエスフリー85プロジェクト(平成27年4月開始)」を推進し、さらに、永久歯のむし菌予防対策として、「保育所・幼稚園等、集団におけるフッ化物洗口」の実施を支援しています。

☆詳細は、仙台市ホームページ「せんだい・歯と口の健康づくりネット」をご覧ください。☆
<http://www.city.sendai.jp/fukushi/kenko/yoiha/>



第2期いきいき市民健康プラン「歯・口の健康づくり」
保育所・幼稚園等歯科保健活動調査 結果概要
(平成28年度)

平成29年3月

発行：仙台市健康福祉局健康政策課

〒980-8671

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

Tel 022-214-8198 Fax 022-214-4446

